

日本型グローブ(GLOBE)活動 に参加してSDGsを達成しよう!

T01

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

2015年9月に国連サミットにおいてSDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標) が採択されて以降、教育現場をはじめとして幅広い領域で、目標達成に向けた具体的な取り組みが推進されています。SDGsは17個の目標で構成されており、それぞれの目標に対して具体的なターゲットが設定されています。ESD (Education for Sustainable Development: 持続可能な開発のための教育) は、これら17個の目的達成に向けた基盤的教育として位置付けられ、教育現場においてESDを推進し、SDGs達成の担い手になりうる人材を育成していくことが求められています。

そこで東京学芸大学環境教育研究センターでは、2021年度ユネスコ「SDGs達成の担い手育成 (ESD) 推進事業」として『グローブ (GLOBE) を活用したSDGs達成のた

めの日本型教師教育実践モデルの開発と普及・発信』の取り組みをスタートさせました。

本事業では、1995年以降、国際的な環境観測プログラムとして導入・継承されてきたグローブ (GLOBE: Global Learning and Observations to Benefit the Environment) を活用し、学校現場でSDGs達成の担い手となる日本型グローブティーチャーを養成するための学習・活動プログラムと教材開発を行います。そのためにはまず、各学校や身近な地域での環境観測をベースとした「持続可能な社会づくり」に関する従来の教育活動の成果と経験とを「日本型グローブ活動」に集約・発展させ、日本型グローブ活動にもとづくSDGs達成のための教師養成モデルと教育実践プログラムを研究・開発していきます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

